

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型重症児（者）デイきらめキッズ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられる。	楽しく得意なことを中心に興味を持って取り組めるように支援する。 子どもの気持ちを大事にし表現できるように支援する。	支援について検討を重ねチームで関わるようにする。
2	事業所の活動プログラムが固定化されないように工夫する。	活動内容が固定化されないように療育会議を持って検討を重ねている。	様々なアイデアを持ち寄り、色々な意見を取り入れて質の向上を図る。
3	日頃から子どもの状況を伝えあい、子どもの健康や発達の状態についての共通理解を図っている。	日頃から様々な伝達手段で子どもの状況を伝え保護者とのコミュニケーションを大切にしている。	さらにしっかりコミュニケーションが取れるようにしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。またきょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされている。	感染症への対応や開催時期、開催場所、内容の吟味など開催に向けて今後検討していく。	秋の収穫祭や今年度開催したマジックショーにきょうだい、姉妹が喜んで参加してくれた。きょうだいと一緒に楽しめるイベントを開催し交流の機会を持っていきたい。
2	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている。	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定運用しているが策定後の周知や説明が足りていない。	現在策定運用している各種マニュアルを保護者に周知していく。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がある。	コンサートや行事等地域に出かけることは積極的に行っているが他の子どもとの交流はあまりできていない。	認定こども園、保育所、幼稚園等に声掛けをして交流が図れるようにしていく。